

新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）について

新型コロナワクチンを2回接種しても、時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されており、追加接種（3回目接種）の実施についての方針が国から示されました。本市における接種スケジュールなどの詳細については決まり次第、広報よしがわやホームページなどで随時お知らせします。

対象者

初回接種（1・2回目）を接種した18歳以上の方
（2回目接種完了から原則8カ月以上後）

※3回目は2回目の接種が終わった方が対象です。

接種券の送付

2回目接種をしてから**8カ月後**を目安に接種券を送付します。2回目から8カ月経過しても接種券が届かない方は、健康推進課へ問い合わせください。

費用 無料

予約方法について

予約方法は接種券が届き次第、同封の書類にてご確認ください。

3回目接種の予約に向け、スムーズに予約できるよう、次のような改善策を検討しています。

- ①接種時期に応じた接種券の発送による予約の分散
- ②予約システムの改良
- ③コールセンターの体制強化
- ④予約サポート体制の強化

封筒見本



追加接種（3回目）は洋封筒（茶色）で送付します。



市長 入学米はテレビでも取り上げられていましたね。このセットでおいくらはですか。
明石 5千円です。市のふるさと納税の返礼品にも登録しました。
市長 ご家族が受験生に勝負の日にお米を食べさせるといふことですね。
明石 そうなんです。ただ、学駅には置いてなくて、学郵便局で販売していただいています。すごく評判がよくて先月は100件ほど問い合わせがあったと思います。
市長 郵便局に用事があるというより

も、これを求めて郵便局に行くという人がいるという話を聞きました。
明石 そうなんです。孫に送ると言ってくれる人がたくさんいます。夜に販売してほしいというニーズにもお応えして、かもめスイミングでも販売してもらっています。
市長 5個で1セットですか。
明石 はい。なぜ5個なのかというと、1つは受験の日まで御守り代わりに机に置いて勉強してくださいと。2つ目は受験の日の朝に家族で一袋2合炊いて食べてくださいと。3つ目は昼の弁当に入れてあげてくださいと。残り2個は合格したときによかったなということでお祝い米として食べてくださいと。そういう意味を込めて5個にしました。市外や県外の人からもたくさん電話をいただいています。
市長 そういう思い描いたストーリーがあるんですね。
最後に明石さんが今後取り組んでいきたいことや抱負を語っていただけました。川島町出身の仁木さんという方が143年前、北海道に入植されて、仁木町という町を作りました。私も3年前から仁木町と物産の交流を始めて、ふるさとまつりで仁木町の鮭やリングを販売したら飛ぶように売れました。昔の交流を復活させるために準備します。コロナが収束したら20

人ぐらいのツアーで仁木町に行く段取りをしよるんです。そこでワインの製法を学んで、学と山瀬のペリーAを使った酸味のあるワインを作りたいと思っています。将来的にはワイナリーができたらええなと思っています。
市長 仁木町はフルーツ王国で、ワインは地場産品ですもんね。
明石 さくらんぼ、りんご、ぶどう、あらゆるフルーツがあります。ワインがめっちゃ美味いんですよ。
あとは、川島町サミットを吉野川市川島町でやろうと思ってるんです。全国に川島町という名前の町が10ぐらいあって、そこで連携することで物産の交流も生まれるし、人材の交流も生まれますよね。災害時にも困ったときは救済物資を送り合ったりして助け合えますし。10の組織が協力したら救える人がたくさんおるんかなと思ってるんです。
市長 なるほど。でもそういった活動をしたいには資金が必要だと。それで川島えがお倶楽部を立ち上げて利益を上げて地域に還元していく。素晴らしい循環ですね。
明石 ありがとうございます。市長さんが選挙公約や議会でおっしゃっている地域活性化や農業の後継者の育成、全部クリアできるような夢を持っているんです。
市長 明石さんのような活動が市内のあちこちに出てきたらおもしろいまま

接種当日の持参物

- 1 接種券一体型予診票
- 2 予防接種済証
- 3 本人確認書類
- 4 お薬手帳

※3回目は、接種券と予診票の一体型となっています。接種券シールはありません。

※追加接種（3回目）開始後においても、1・2回目接種は可能です。
※11月17日時点の情報です。国の方針により、変更となる場合があります。

●問い合わせ **新型コロナワクチン接種コールセンター**
☎088-679-6653 FAX088-679-6654
午前8時30分～午後7時（土・日・祝日を除く）
健康推進課 新型コロナワクチン担当
☎36-1177 FAX22-2260

かわしま未来塾

平成30年3月に設立されたボランティア団体。川島町において、当会の会員および地域住民が連携、協力をより一層深め、人間性豊かな元気で明るい地域の活性化と子どもの健全育成を図るとともにお年寄りの力になることを目的としている。川島ふるさとまつりなどのイベントや滞滞活動などさまざまな活動を行っている。

●ホームページアドレス
<https://kawashima-mj.jp/>

川島えがお倶楽部

令和3年3月に設立された合同会社。川島町の豊かな自然の中で育てられた農産物を全国に届けたいという想いから、川島町の特産品や名産品を生産者から消費者へ販売サイトを通じ届ける活動を行っている。6次産業化を目指し、B級品などを使用した商品開発も行っている。

●ホームページアドレス
<https://kawashima-mj.jp/egao/>

になると思います。行政としても、まちの活性化やまちづくりに関しては地域の方々に協力していただかないと実現できないものだと思っておりますので、今後とも吉野川市の活性化のためにご尽力いただきますようよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。
明石 ありがとうございました。